

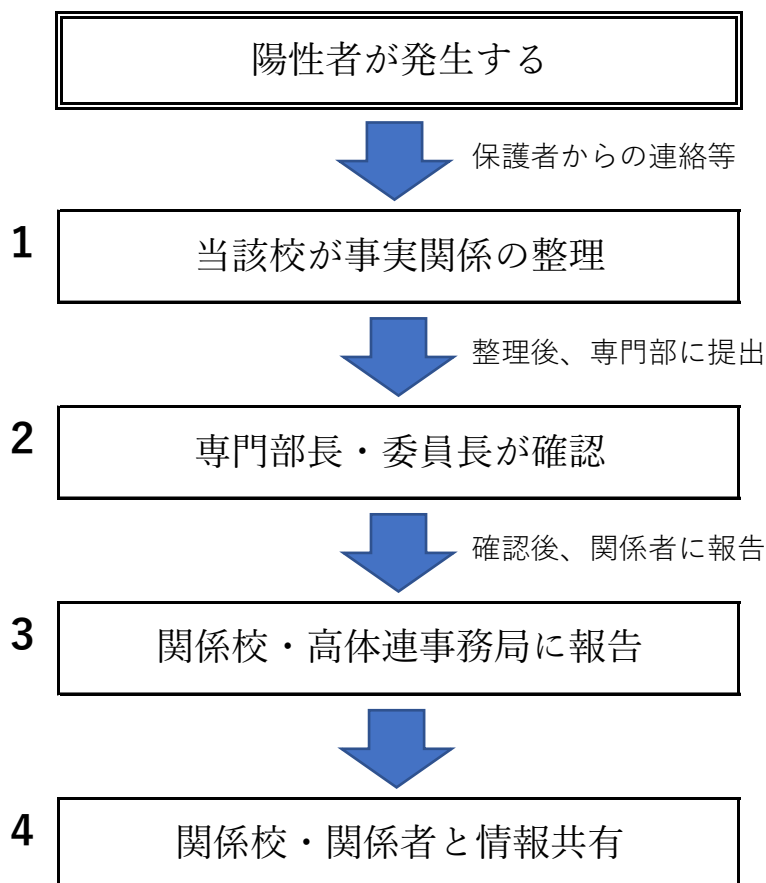
大会終了後の体調不良者発生への対応について

体調不良者が陽性の場合、他の参加者のために情報が必要です。

出来る限り早く医療機関（原則）で受診・検査を行うよう、保護者に御連絡ください。

陽性の場合は、下記の手順で報告書を作成してください。

【手順】



※ 早期対応のため、① → ③ → ②になる場合もあります。

【目的】

重要な点は、感染者とリスクの高い接触をした者の確認をスピーディに行うことです。

他校に関係する場合があります。

参加校（当該校）は速度感を持って対応できるよう、保護者への事前周知をお願いします。

陽性者報告の内容について

【当該校における事実確認】

- 1 競技名（種目名）
- 2 期日（参加期間）
- 3 時間（参加時間）
- 4 会場（複数会場に係る場合は、日程毎に記載）
- 5 対象者（高校名・学年・氏名・性別） ※感染リスクの高い接触者調査のため関係者にのみ公表
- 6 内容

（１）報告までの流れ ※参加校にスピーディに周知するため、素早く対応する。

- ①発症時間 → 診断や検査等で「陰性・陽性」が出ていない場合、検査が最優先とする。
- ②保護者から顧問への連絡時間
- ③顧問から管理職への報告時間 → 専門委員長への報告書の作成（報告は学校長の内容了知後）
- ④顧問（管理職）から専門委員長への報告時間
- ⑤専門委員長から事務局への報告時間 → 最終報告書の作成（大会運営者として部長の了知後）
※事務局から詳細について再調査の依頼等がなければ、関係者へ周知連絡する。

（２）当該生徒の当日の状況（行動履歴調査）

- ①当日朝の健康チェックの状況確認
- ②大会前後のマスク着用や手指消毒等、基本的感染症対策の有無
- ③当該生徒の大会当日の活動状況について調査 → 感染リスクの高い接触があれば④
- ④感染リスクの高い接触者についての調査
 - ・会場までの移動方法
 - ・更衣中の行動（マスク着用の有無・密な状態等）
 - ・昼食時の行動（短時間であるか、密でないか等）
 - ・休憩時間の行動（マスク着用の有無・接触or密集の状態等）
 - ・大会中、帰宅中の行動全般（自校選手内や他校選手と感染リスクの高い接触がないか）

【専門部の確認】 ※必要に応じて専門部からの情報追加

- ①競技中の状況について（延長・ハードゲーム等、気になる点について）
- ②競技前後の基本的な感染症対策について（大会本部で周知している内容）
- ③トイレや更衣室等の利用状況について（会場施設の関係上、気になる点について）
- ④観客動線や観客応援等の状況について（会場の関係上、混在等、気になる点について）
- ⑤競技役員・補助員の活動状況について（感染リスクの高い接触の有無について）
- ⑥関係者への周知における補足事項（連絡上、気になる点について）
- ⑦対戦表等、当日の状況が分かる資料の添付

【参加校・競技専門部共通注意事項】

- ①大会中に発生した発熱・のどの痛みなどの体調不良者 → 早急に診断・検査等で感染確認
- ②大会中の全ての人々に関わることで、早急な対応を事前説明しておく